

令和2年度 狭山市立広瀬小学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
- B：概ねできている。(85%以上)
- C：あまりできていない。(70%以上)
- D：できていない。(70%未満)

| 領域 | 番号 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価委員から 評価(文章表記) |
|--------|----|--------------------------------------|------|---|--|
| | | | 評価 | 説明 | |
| 学校運営全般 | 1 | 学校の重点目標が明確である。 | A | ・アンケート等から教職員、家庭、地域とも、校長の示した重点目標、経営方針に基づいた学校経営が行われていると考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標・目指す児童像・目指す教師像等の目標に、学期の自己形成に必要な不可欠なものがしっかり踏まえられている。 ・教職員の協働体制は「チーム広瀬」の核となるところなので、協力して教育活動に取り組んでいると思う。 ・後回しにされがちな職員トイレも改修され、その他の施設設備も分掌に基づき安全に管理されていると思う。 ・重点目標について7点あげてあるが、どの項目も大変大事であり、明確に示されている。校長先生の子供に対する「教育愛」を説明の中で強く感じた。職員の方々が一丸となって、コロナ禍の中の教育を工夫され、実践されている姿を見せていただいた。 ・新型コロナウイルス拡大防止のため、例年どおりの活動ができない中、様々な工夫をされて学校運営を行っていると思う。 |
| | 2 | 児童は、学校生活が楽しいと感じている。 | B | ・保護者アンケートによると96%が「学校が楽しい」と感じている。 | |
| | 3 | 教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。 | B | ・100%になるよう努めていきたい。 | |
| | 4 | 清掃が行き届き、学校がきれいである。 | B | ・施設・設備の瑕疵による事故は0であり、保護者アンケートでも98%の保護者が安全の保持に努めていると回答している。 | |
| | 5 | 学校の施設・設備は安全に管理されている。 | A | | |
| 学習 | 6 | 教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。 | B | ・校内研修を軸に、教職員一人一人の授業力向上に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な学力・落ち着いた授業態度・家庭学習の習慣はわかりやすい授業を起点にして相互に関連しあっていると思う。 ・英語はもっと積極的に子供たちでコミュニケーションをとってほしい。 ・授業参観を全クラス行わせていただいたが、どのクラスの子供たちも落ち着いて授業を受けていた。そして先生方も一生懸命授業を行っていた。更にクラスの掲示物が整って貼られていた。目指す児童像が「自主的に考え、正しく行動できる児童」であるので、保護者に「勉強しなさい」と言われなくても家庭学習ができていく児童が育っていると思う。 |
| | 7 | 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 | A | ・地域の方々からも落ち着いて学習に取り組んでいるという評価を得ている。 | |
| | 8 | 児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。 | B | ・保護者アンケートでは98%の家庭が「学校は基礎的学力が身につくように指導している。」と感じている。 | |
| | 9 | 児童は、家庭学習の習慣を身につけている。 | B | ・各種学力テストでは、平均点に及ばない設問も多く、更なる学力向上に取り組んでいく。 | |
| | 10 | 児童は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 | B | ・家庭学習については、習慣になってきている児童が多いが、個人差が大きいので、全児童に確実に身につくようにしていく。 | |
| 規律ある態度 | 11 | 児童は、進んであいさつをしている。 | B | ・校内ではあいさつができる児童が多いが、地域、特に登校時にできていない児童が多い。本校の重点課題として継続的に粘り強い指導を進めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に昇降口前であいさつを中心に資源を集めているが、あまりおはようございますと返してくる子はおらず、もっと元気なあいさつが飛びような広小になってほしい。 ・近所の子ども達は、こちらから「おかえりなさい」、「こんにちは」などの声かけすると会釈やあいさつが返ってくる。 ・朝の立哨指導のとき、児童の皆さんが落ち着いて登校していた。その際、あいさつもはっきりできていた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や手洗い、ソーシャルディスタンスをとる等、感染予防に対する基本的な知識や行動様式をしっかりと児童に理解させている。児童も決まりを守り、生活できていると思う。挨拶をする気持ちの良い返事が返ってくるが、自発的になると難しいようである。 |
| | 12 | 児童は、場に応じた言葉遣いができている。 | B | ・児童の言葉遣いは一部の児童に乱れを感じる。また、敬語が適切に使えない児童も多い。教師・保護者を中心に大人が手本を示すことで改善していきたい。 | |
| | 13 | 児童は、時間を守って生活している。 | A | ・全校集会等多くの児童が集まる場面では、定刻までに確実に集合できている。 | |
| | 14 | 児童は、きまりを守って生活している。 | B | ・本年度も児童に関する大きな事故はなかった。児童一人一人がきまりやルールを守って生活しているためだと考えている。 | |
| | 15 | 教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。 | B | | |
| 健康・体力 | 16 | 学校は、児童の体力を高めている。 | B | ・体力テスト等の結果からも児童は、必要な体力を身につけていると考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあつて、心身の健康を維持することは大人数でも問わず大きな課題である。この機会を、体と心の健康に留意した生活習慣を身に付けるチャンスと心得、自らも実践しつつ子ども達を啓発していくことが大切である。 ・業間休みや昼休みは元気に外で遊ぶ姿を見る。高学年の色の帽子が少ないかなと感じる。 ・広瀬小では、新型コロナウイルス感染症予防のため、健康チェックカードにより児童の体調確認、家族の健康確認を行っている。児童は今までに健康を意識した生活を行っている。児童は今までにない健康に対する生活への関わりは、例年以上に神経を使っているのではないかなと思う。 |
| | 17 | 児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。 | A | ・体育部を中心に毎朝校庭に必要なラインを引き、児童の運動意欲を高めようとしている。 | |
| | 18 | 児童は、健康を意識した生活をしている。 | B | ・保護者アンケートでも97%の保護者が「学校は体力づくりの指導をしている。」と回答している。 | |
| 地域との連携 | 19 | 学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。 | A | ・保護者アンケートでは97%が「家庭・地域と連携・協力しようとしている。」と回答している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の中心である「広小だより」が充実している。 ①題材が時期に応じて適切であり、分かりやすく行間から温かさが感じられる。 ②大事な情報が簡潔明瞭に記述されている。 ③写真の掲載や名前の記述もあり親しみが感じられる。 ④ボランティアの活動に対し、学校からの感謝の言葉が清々しく感じられる。 |
| | 20 | 学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。 | B | ・学校だよりとおして、学校の様子を知ってもらうとともに、職員にもPTAや地域の行事に積極的に参加するよう呼びかけている。 | |